

3-1. 一般寄附金の使途(機構内競争的研究資金制度への充当分 ①)

機構内競争的研究資金制度 : 22件 65,660,000円を充当

キーワード			実施課題	研究者の所属
若手	福島	産学		
○	○	○	高い放射性物質吸着能力を有する化学修飾グラフェン材料の開発	先端基礎研究センター
○	○	○	3次元培養細胞を用いた低線量放射線被ばくによるバイスタンダー効果の研究	先端基礎研究センター
○	○	○	モニタリングポストを用いた核種別被ばく線量評価手法の開発	大洗研究開発センター
○	○		御雰囲気下での大面積均一重イオンビーム照射を用いたイオン穿孔膜の新しい創製技術	高崎量子応用研究所
○		○	有機物結合体セレンの生成・分解に対する微生物の影響	地層処分研究開発部門
○		○	高耐久性荷電変換薄膜の研究開発	J-PARCセンター
○			核磁気共鳴法による核スピンバーネット効果の研究	先端基礎研究センター
○			リポソームを用いたモリブデンナノ粒子生成法の確立	先端基礎研究センター
○			低酸化数ウラン配位化合物の合成と光化学	原子力基礎工学研究部門
○			Towards X-ray quantum optics with an electron-beam ion trap	量子ビーム応用研究部門
	○	○	放射性核種の固液界面における長期秩序化機構の解明	先端基礎研究センター

3-2. 一般寄附金の使途(機構内競争的研究資金制度への充当分 ②)

キーワード			実施課題	研究者の所属
若手	福島	産学		
	○	○	新規配位高分子による放射性セシウム有効利用のための分離・回収法開発	原子力科学研究所
	○	○	コンプトンカメラを用いた放射性セシウムの作物中動態の解明	量子ビーム応用研究部門
	○	○	低線量放射線に対する植物の応答性に関する研究	量子ビーム応用研究部門
	○		放射線で遺伝子を狙い撃ちすることができるか？	量子ビーム応用研究部門
	○		XFEL用2連パルス生成&遅延光路の設計試作とSPring-8ビームラインを用いた評価	量子ビーム応用研究部門
	○		機能物性の開拓を目指したJ-PARCでの低温高圧中性子回折実験技術の開発	量子ビーム応用研究部門
	○		新しい「負の熱膨張材料」ビスマス系ペロブスカイト酸化物の熱収縮機構解明	量子ビーム応用研究部門
	○		圧縮ベントナイト中での放射性セシウム固定化技術の開発	核燃料サイクル工学研究所
		○	元素選択的な電離によって細胞から放出される ATPを直接観測するための溶液セルの開発	先端基礎研究センター
		○	燃料デブリ溶出挙動評価に向けたU-Zr酸化物固溶体の放射線誘起水溶化反応の研究	原子力基礎工学研究部門
		○	硬X線光電子分光によるセシウム吸着粘土鉱物の電子構造の研究	量子ビーム応用研究部門

3-3. 一般寄附金の使途(萌芽研究・人材育成への充当分)

萌芽研究 : 3件 2,200,000円を充当

実施課題	研究者の所属
ガンマ線耐性に寄与する植物内在性フラボノイドの機能解明	量子ビーム応用研究部門
マイクロビームを用いた個体レベル放射線影響の解析 -放射線影響の照射部位依存性に迫る-	量子ビーム応用研究部門
深部地下環境における難分解性高分子有機物分解菌の探査	地層処分研究開発部門

人材育成 : 10,000,000円を充当

福島第一原子力発電所事故関連の仕事を現場で実施する民間企業を対象としてJAEAが実施している研修のための計測機器等が老朽化しており、その更新等の費用に充当

4. 特定寄附金の使途(特定寄附金の充当分野)

44件、213,645,000円(H24年度特定寄附金)を充当

実施部署	主な充当テーマ	獲得件数	獲得金額 (単位;千円)
福島技術本部	・福島第一原子力発電事故への対処に係る研究開発	6件	550
量子ビーム応用研究	・微量金属高速捕集材料に関する研究開発 ・光医療レーザー加速器開発	10件	1,770
産学連携推進	高感度ガス分析装置による迅速非破壊測定法の研究開発	3件	850
J-PARCセンター	・高周波源電源の電力解析に係る研究開発 ・J-PARC加速器制御系の高度化に係る研究開発	3件	400
地層処分研究開発	高レベル放射性廃棄物の処分技術に関する研究開発	3件	210
その他	・人材育成及び研究開発環境の整備 ・低レベル放射性廃棄物の廃棄体化に係る技術開発	14件	209,865
合 計		44件	213,645